

(3) 国内^{こくない}やほかの^{ちいき}地域^{がいこく}や外国とのつながり

ほかの^{ちいき}地域とのつながり

それぞれの店にならんでいる品物^{しなもの}は、どこで作られ、どのように運ばれて来るのでしょうか。ある食料品店^{しょくりょうひんてん}と、ふとん店^きで聞いてみました。

しょくりょうひんてん

食料品店の人の話



魚や、くだもののほとんどが会津若松^{いちば}の市場^{いちば}に行つて直接仕入れてきます。

市場には、宮城、新潟は勿論、各産地^{もちろん}から、関東、関西^{かくさん}の製造元^ちから、主にトラックで運びこまれた品物が並びます。酒やお菓子^{せいぞうもと}などは、会津若松市^{さいせつし}や喜多方市^い、坂下町^{さかした}の間屋^{ばんげまち}さんが、必要^{ひつよう}な分^{ぶん}だけ電話で連絡するととどけてくれることになっています。ほとんどの品物は、近くの市や町から来ていると言えます。

ふとん店の人の話



阪神大震災^{はんしんだいしんさい}の時のニュースで私の目に印象的^{いんしょうてき}だったのは毛布^{もうふ}を持って駆け出す人々の姿^{すがた}でした。空気の次に大切な睡眠^{すいみん}、その環境^{かんきょう}を提供^{ていきょう}させていただ

いていることに喜びを感じて仕事をしています。

打ち直^うしするよりも、安い^{なお}ふとんを買い、古^すくなったら捨^すてて新しいのを買うといった考えの人が多^ちい時代^{きゅう}ですが、地球^{ちきゅう}にやさしいリサイクルをしてほしいです。インドの綿^{せん}は繊維^{せんい}が太^てくふとんに適^{てき}しているので使^{つか}っています。